

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第460105214号
法人名	社会福祉法人 鶴陽会
事業所名	グループホームあけぼの
所在地	鹿児島県鹿児島市山田2019番地 (電話) 099-275-9330
自己評価作成日	平成30年2月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php?acti
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同敷地内に特別養護老人ホーム、ケアハウスがあり同世代との交流の機会や乳児院の子供達とのふれあいが日常的に楽しめます。

町内会では地域の行事に参加したり、地域の方が施設に訪問したりと交流を保ち、運営推進会議にも町内会長や民生委員が委員として参加しています。避難訓練では地域の住民参加を呼び掛ける等の協力が得られています。

近年、介護度が高い入居者様が入居されており、普段の業務で特に技術面の強化に努めています。毎月の研修会ではテーマを決め取り組み、入居者様の意思や体調に配慮しながら、安全安心に過して頂けるように職員間の情報共有に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは、市郊外の閑静な住宅街に同法人の特別養護老人ホームやケアハウス、乳児院と共に設置されており、広大な敷地には多種の樹木や草花が植えられ、四季を感じながら平穏に生活できる環境である。開設以来、地域との円滑な交流に努めてきており、法人主催の夏祭りには多くの地域住民の参加が得られ、また、自治会に加入して地域行事や奉仕作業の参加、実習生やボランティアの受け入れ等に積極的に取り組み、日頃から地域の人々と会話し農作物を頂くなど、地域に密着した交流が図られている。

○管理者及び職員は、理念に沿って利用者の誇りや尊厳を大切にしながら思いや意向の把握に努め、常に利用者主体の、自由で平穏な暮らしのケアに取り組んでいる。利用者や家族からの意見や要望に対しては、職員全体で協議して積極的に改善を図るなど、常に、より良いサービスの実践を目指しており、利用者や家族の信頼や安心感に繋がっている。

○管理者は、職員が日頃から気軽に意見が言える雰囲気づくりに努め、意見や要望等を把握して業務の改善やサービスの質の向上を図っており、職員との信頼関係や協力体制が構築されている。

また、職員のスキルアップのための研修の実施や資格取得に対する助言や指導を積極的に行い、また、勤務シフトの作成には可能な限り本人の意向を反映すると共に有給休暇の取得も推奨するなど、働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り後、理念の唱和をすると共に職員1人1人が日々のケアに活かせるように努めている。	開設時からの理念を目に付きやすい玄関やリビング、事務所に掲示し、毎日の申し送り時の唱和や介護会等での研修、振り返りで意義を共有している。利用者が地域や家族との絆を保ちながら穏やかに、その人らしく過ごせるように、「やさしさと気配り、思いやりを持って」を意識して支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣を散歩中挨拶を交わし顔なじみとなりっている。深い交流ができず、人員体制が整わないことで地域の行事に参加出来ない。	自治会に加入しており、地域の運動会やゲートボールの見学、清掃作業に参加するなど、地域の情報を把握して交流に取り組んでいる。法人主催の合同夏祭りには多くの家族や地域住民の参加があり、高校生の実習やイベント時のボランティア等を積極的に受け入れている。また、日頃の散歩や買い物、通院時に地域の人と会話し、家族や友人知人の来訪も頻繁にあり、農産物等を頂くなど日常的に円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会会長や地域代表委員から地域へ情報発信を協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議での意見をサービスに活かすよう努めているが、ほとんど取り組むことが出来ていない。</p>	<p>会議は家族、町内会長、地域代表、地域包括支援センター職員等が参加して定期的開催している。ホームの現況や行事、事業計画等の報告を行い、委員からは認知症ケアや防災に関する意見等が出されている。ホームの運営やケアに対する意見を出来るだけ多くの家族から貰うために、家族会と同じ日に会議を開催するなど工夫している。職員は会議の内容を議事録で共有し、意見交換等を行ってサービスの向上や改善に努めている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センター職員に運営推進会議へ参加をしてもらっている。</p>	<p>市担当者とは利用者の入退所時や介護保険更新の手続き等のほか、ホームの運営やケアに関する各種制度について相談や意見交換するなど日頃から協力関係が築かれている。また、市主催の会合や研修会等にも出席して、行政職員や他施設職員と情報や意見の交換を行いサービスの向上に務めている。市から派遣される介護相談員も受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。 入居者様が安心して暮らせるケアに努めている。</p>	<p>マニュアルを整備し、身体拘束や権利擁護に関する研修を計画的に実施して共通の認識を図っている。身体拘束廃止委員会も毎月開催し、利用者の尊厳を大切にしたい言葉づかいやケアの方法を具体的に話し合っって拘束のないケアに努めている。昼間は、居室や玄関等の施錠は行わず、外出したがる利用者には一緒に散歩や寄り添いに努めて安全を確保するなど、拘束のない自由な暮らしの支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用する入居者様があり、積極的に話を聞き立場や考え方、業務の範囲など把握するように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に丁寧な説明を行い理解を得るように努めている。家族からの疑問には随時答えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族との関係を良好に努められてたが、意見を得ることが少ない。</p>	<p>利用者の思いや意見は、日頃の会話や表情、独自のサイン等で理解に努め、家族の意見や要望は来訪や電話連絡、家族会、運営推進会議時の対話で把握している。要望や意見は、「申し送り帳」や「ケース記録」等で情報を共有し、申し送りや介護会議、職員会議等で協議してサービスの向上に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議を行い、話し合っている。</p>	<p>管理者は日頃より話しやすい雰囲気作りに努め、職員会議や毎日の申し送り、業務の中、個別面談等で職員の悩みや業務に関する意見、要望等を把握し、業務改善やサービス向上に繋げている。勤務シフトは可能な限り職員の希望を反映させ、個人的な事情にも細かに配慮し、また、資格取得への助言に努めるなど、働きやすい職場環境の整備に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事評価を作成している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修への勤務調整が難しい状態であり、研修に出席してもらう機会がとれない。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホームが合同で行う勉強会の職員への案内と参加を図たが、参加ができなかった。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者・相談員が面接を行い本人の要望・悩みを聴く環境を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話しやすい環境づくりに努め、家族の不安、悩みを吸い上げられるよう話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・相談員が面接を行い家族・本人と話を行い、職員の意見を聴き検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で入居者と共に喜び・達成感を感じたり昔ながらの行事やお菓子作りを通して、関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に協力が大切である事を伝え、面会時や家族会の時に意見交換を行い共に本人を支えて行く関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親しい人との関係が維持出来るように電話の取り次ぎや、家族の協力を得て、墓参りを行っている。回想を取り入れたレクレーションを行い個々の思いを大切にしている。	利用者の入所前の生活状況を本人や家族等から聴取して馴染みの情報を共有しており、日頃から昔の写真で回想する時間を設けている。家族や友人の来訪時にはゆっくり過ごせるように配慮し、本人の希望に沿って近隣の散歩や買い物、墓参、通院、美容室での整髪等を家族と協力して支援している。遠方の家族には、情報紙「あけぼの瓦版」や利用料請求時のコメントで利用者の状況を伝え、電話や手紙の取り次ぎも行って、馴染みの人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が1人になりたい時は、居室にもどりゆっくりと過される。入居者様同士でも関係性を築いている。トラブルが発生し始めたら職員が関係調整に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先からの他施設へ入所がスムーズ出来るよう情報提供を行っている。当法人内にある特養に移られた後も本人や家族と交流を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを行い1人1人の趣味・役割等を通して生きがいを持てる生活を出来るように支援して行く。	利用者の思いや意向を、日頃の関わりの中での対話や表情、仕草、独自のサイン等で理解に努め、「ケース記録」「申し送り帳」で共有を図り、その人にとって最善のケアとなるよう取り組んでいる。生きがいのある生活を過ごせるように、趣味（貼り絵や新聞の読み聞かせ等）の取り組みについても可能な限り希望に添って個別の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中から知ることが出来る考え方や、家族の面会時など、これまでの暮らし方等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	老化や病気の進行など状況の変化に即した支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに基づくケアを提供しているが、気づきがあった時は記録に残し、カンファレンスを通じてケアに活かせるように努める。	本人及び家族の希望や主治医の意見、助言等を十分に把握し、モニタリングやカンファレンス時の意見を基に、具体的で解りやすい介護計画を作成している。ケアの経過は「ケース記録」「排泄チェック表」「バイタルチェック表」等に詳しく記録され、利用者の状態変化に対しても実態に添った計画の作成や修正を行って支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝・夕の申し送りで情報の共有を行い申し送りノートを活用しカンファレンスなどの話し合いと共に個々の介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人との会話の中から知ることが出来るその時々を尊重し、ご家族と共有するなど、様々な支援方法に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人のニーズにあった支援が出来る様に職員で話し合い、また家族の意向も聴き取りながら取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時からのかかりつけ医や協力医療機関との関係を維持し、症状に応じて専門病院受診時は家族希望する病院を受診している。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しており、定期的な通院や専門医の受診等は家族と協力して支援している。状況により訪問診療も実施されており、病状や受診結果については家族にも報告して連携を図っている。利用者の病状や受診結果は「健康管理記録」等で情報を共有し、医療機関との連携体制も構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に相談しながら健康管理の支援を行っている。変化がみられたら報告し適切な指示を受け支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医師・相談員との連携を取り情報交換出来るようにしカンファレンスを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に入居者や家族等での説明を行っている。又本人様の状況変化に合わせてご家族へ説明をし、家族に同行いただき受診しケアに取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期のホームの対応については、指針を作成し入所時に本人や家族に説明して理解を得ている。看取りは実施していないが、利用者が重度化した時点で主治医から病状が説明され、職員や関係者、家族は十分な話し合いを繰り返して、ホームで可能な限りの支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当・蘇生法・AEDなどの勉強会を行っている。緊急マニュアルの周知徹底を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内会会長や民生員を通し地域の協力が得られる体制をとっている。非常時に備えて水や食料品を備蓄をしており年に1度見直しをしている。</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回夜間も含む火災や自然災害を想定した避難訓練や消火訓練を法人の施設合同で実施し、消防職員の講話やAEDの研修も定期的に行い、年1回は事業所単独の訓練を行っている。台風接近時には隣接の特別養護老人ホームに全員避難するなど協力体制が構築されている。スプリンクラーや自動通報装置等が設置され、連絡網や懐中電灯、ラジオ等を整備し食料・飲料水等も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様の尊厳を損ねる事のないように心がけている。職員同志でお互いに注意し合っている。</p>	<p>人格の尊重とプライバシーの確保、個人情報保護等については、計画的に研修を実施して周知に努めている。特に居室への入室や排泄・入浴・更衣等のケアに際しては、尊厳やプライドを損ねるような言葉づかいや対応を行わないように十分配慮しており、居室やトイレ、浴室等はプライバシーが確保された構造になっている。また、ケアに関する台帳等もプライバシーの保護に配慮して適切な取り扱いがされている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様の希望、関心、好みなどを良く聴き、その人にあったかをしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日のスケジュールは決まっているが、入居者のペースに合わせて、入居者様がしたいことに配慮して希望に添って支援に努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時や外出時の前に整容や更衣が出来るように支援している定期的な訪問美容も来られる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みを念頭にメニューが偏らないようにし、彩りを考え盛り付けしている。	利用者の好みや形態、栄養バランス、季節感、安全性等に配慮した献立で、住民から頂いたり菜園の野菜等も活用している。行事食やレストランでの外食、手作りのおやつ、家族会での会食、あくまき作りや餅つき等、食事が楽しみなものになるよう工夫し、職員も一緒に歓談しながら食事している。利用者毎に食事の摂取量や水分補給、服薬等に配慮し、口腔ケアもプランに沿って実施している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事摂取量をチェックし記録している。水分摂取が少ない入居者様はチェックをしている。又、毎月体重測定をし状況に応じ支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアに取り組んでいる。状況によっては歯科医師の指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い排泄パターンを把握し、適切なタイミングで自尊心を損なわないよう声かけを行っている。	利用者の排泄パターンを把握し可能な限りトイレでの排泄を支援しており、食事の摂取状況や水分補給等も個々に把握しながら便秘の予防にも取り組んでいる。羞恥心や不安の軽減にも細かに配慮し、利用者の状態に応じて介護用品の工夫や支援方法等を介護計画に反映させて改善に努めており、隣接の特別養護老人ホームの研修会にも参加してスキルアップを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を使用することで予防に努めている。又、散歩や毎日の健康体操を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めているが、入居者様の体調や気分によって日にちや時間を変更し、その都度対応している。	利用者の健康状態を把握し、足浴や清拭も含め週2～3回の入浴を支援しているほか、排泄の失敗等には即時に清拭や入浴で清潔を保っている。入浴時間や温度、入浴剤等は利用者の希望に添って柔軟に対応し、ゆっくりと入浴を楽しめるように取り組んでいる。入浴を渋る利用者には無理強いしないで、時間や声掛け等を工夫して利用者の意欲を待つようにしている。個浴で支援しており、親密なコミュニケーションの場にもなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	規則正しい生活リズムが送れるよう支援しているが、入居者様のその日の体調や気分によって、その都度対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診等で薬の内容が変わる時などは申し送りや連絡ノートを通じて職員に周知するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者が有する能力に応じて役割を持って1日を過ごしてもらっている。又、家族からの情報を基に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者様の要望やご家族の要望に応じて買い物の支援を行い、外食等も行っている。運動会など地域と交流を持っている。</p>	<p>利用者の外出への意向は、日常の関わりの中で把握し、健康状態や天候に配慮しながら、可能な限り本人の希望に沿って散歩や買い物、通院、美容室等の外出を家族と連携を図りながら支援している。花見やソーメン流し、レストランでの外食等の外出を計画的に実施し、地域行事へも参加するなどリフレッシュを図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の持ち込みは断っているが、買い物等を行う際には事前に家族へ連絡をとり預かっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等希望される場合には支援を行うようにしている。入居者様宛の電話がある場合は対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共同のリビングにも、掲示や観葉植物など居心地良く過ごせるよう工夫し、清潔感がもてるよう配慮している。</p>	<p>建物全体が余裕ある広さで、リビングには中庭とオープンキッチンが設置されて、明るく木材を基調に和やかで落ち着いた雰囲気である。随所に季節感のある利用者の作品や生花等が飾られ、清掃や整理整頓、空調、衛生面にも細かに配慮して気持ちよく過ごせるように取り組んでいる。広い園庭には多種の樹木が植えられ、また、菜園も設けられており、利用者は日常的に四季を感じながら日光浴や散歩を楽しみ、他施設の利用者や乳児院の子どもとの交流が図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースでの席では、入居者様に居心地良く過ごしてもらえよう、各入居者の好みの場所や周りの関係に注意している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居者様が過ごしやすい環境を保つため、掲示物やなじみの品物を持ち込んでもらい、環境を整えている。	居室は、カーペット（入口部分はフローリング）の床に掃出し窓の仕様でベランダも設置されて明るく、エアコン、ベッド、クローゼット、洗面台が備えてある。整理整頓や清掃等に十分配慮し、利用者が安全で快適な生活が営めるように支援している。家庭と同様に落ち着いて生活出来るよう、使い慣れた寝具や家族写真、テレビ、小物等を自由に持ち込込み、自身の作品も飾ってその人らしい和やかな雰囲気の居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーや手すりなど安全な環境を保持している。トイレなどの場所を表示したり、居室のタンス、洗面台にクッション性のカバーをしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り後、理念の唱和をすると共に職員1人1人が日々のケアに活かせるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣を散歩中挨拶を交わし顔なじみとなりっている。深い交流ができず、人員体制が整わないことで地域の行事に参加出来ない。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会会長や地域代表委員から地域へ情報発信を協力して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見をサービスに活かすよう努めているが、ほとんど取り組むことが出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センター職員に運営推進会議へ参加をしてもらっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。 入居者様が安心して暮らせるケアに努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修の重要なテーマとして位置付け職員に周知を働きかけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用する入居者様があり、積極的に話を聞き立場や考え方、業務の範囲など把握するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に丁寧な説明を行い理解を得るように努めている。家族からの疑問には随時答えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族との関係を良好に努められてたが、意見を有効に活用することができなかった。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議を行い、話し合っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事評価を作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修への勤務調整が難しい状態であり、研修に出席してもらう機会がとれない。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホームが合同で行う勉強会の職員への案内と参加を図り、刺激を受けるようにした。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>管理者・相談員が面接を行い本人の要望・悩みを聴く環境を作っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい環境づくりに努め、家族の不安、悩みを吸い上げられるよう話し合っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>管理者・相談員が面接を行い家族・本人と話を行い、職員の意見を聴き検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で入居者と共に喜び・達成感を感じたり昔ながらの行事やお菓子作りを通して、関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に協力が大切であることを伝え、面会時や家族会の時に意見交換を行い共に本人を支えて行く関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親しい人との関係が維持出来るように電話の取り次ぎや、家族の協力を得て、墓参りを行っている。回想を取り入れたレクリエーションを行い個々の思いを大切にしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が1人になりたい時は、居室にもどりゆっくりと過される。入居者様同士でも関係性を築いている。トラブルが発生し始めたら職員が関係調整に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先からの他施設へ入所がスムーズに出来るよう情報提供を行っている。当法人内にある特養に移られた後も本人や家族と交流を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを行い1人1人の趣味・役割等を通して生きがいを持てる生活を出来るように支援して行く。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中から知ることが出来る考え方や、家族の面会時など、これまでの暮らし方等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	老化や病気の進行など状況の変化に即した支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに基づくケアを提供しているが、気づきがあった時は記録に残し、カンファレンスを通じてケアに活かせるように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝・夕の申し送りで情報の共有を行い申し送りノートを活用しカンファレンスなどの話し合いと共に個々の介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人との会話の中から知ることが出来るその時々を尊重し、ご家族と共有するなど、様々な支援方法に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人のニーズにあった支援が出来る様に職員で話し合い、また家族の意向も聴き取りながら取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時からのかかりつけ医や協力医療機関との関係を維持し、症状に応じて専門病院受診時は家族希望する病院を受診している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に相談しながら健康管理の支援を行っている。変化がみられたら報告し適切な指示を受け支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医師・相談員との連携を取り情報交換出来るようにしカンファレンスを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に入居者や家族等での説明を行っている。又本人様の状況変化に合わせてご家族へ説明をし、ケアに取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当・蘇生法・AEDなどの勉強会を行っている。緊急マニュアルの周知徹底を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会会長や民生員を通し地域の協力が得られる体制をとっている。非常時に備えて水や食料品を備蓄をしており年に1度見直しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様の尊厳を損ねる事のないように心がけている。職員同志でお互いに注意し合っている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様の希望、関心、好みなどを良く聴き、その人にあったかをしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日のスケジュールは決まっているが、入居者のペースに合わせて、入居者様がしたいことに配慮して希望に添って支援に努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時や外出時の前に整容や更衣が出来るように支援している 定期的に訪問美容も来られる。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>全員が食事を楽しみにされており、家族の協力を頂きながら取り組んでいる（近くのファミレス等に行かれている）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事摂取量をチェックし記録している。水分摂取が少ない入居者様はチェックをしている。又、毎月体重測定をし状況に応じ支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアに取り組んでいる。状況によっては歯科医師の指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者の重度化もあり自立までは出来ていない。本人の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を使用することで予防に努めている。又、散歩や毎日の健康体操を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めているが、入居者様の体調や気分によって日にちや時間を変更し、その都度対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	規則正しい生活リズムが送れるよう支援しているが、入居者様のその日の体調や気分によって、その都度対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診等で薬の内容が変わる時などは申し送りや連絡ノートを通じて職員に周知するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者が有する能力に応じて役割を持って1日を過ごしてもらっている。又、家族からの情報を基に支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の要望やご家族の要望に応じて買い物の支援を行い、外食等も行っている。運動会など地域と交流を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の持ち込みは断っているが、買い物等を行う際には事前に家族へ連絡をとり預かっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等希望される場合には支援を行うようにしている。実際には入居者様自ら電話や手紙を出すことが難しくなっており、入居者様宛の電話がある場合は対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共同のリビングにも、掲示や観葉植物など居心地良く過ごせるよう工夫し、清潔感がもてるよう配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースでの席では、入居者様に居心地良く過ごしてもらえるよう、各入居者の好みの場所や周りの関係を注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居者様が過ごしやすい環境を保つため、掲示物やなじみの品物を持ち込んでもらい、環境を整えている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーや手すりなど安全な環境を保持している。トイレなどの場所を表示したり、居室のタンス、洗面台にクッション性のカバーをしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない